

平成16年度 神戸大学農学部第3年次編入学試験問題
小論文 (食料生産環境工学科)

以下の3問から2問を選択して解答しなさい。

(1) 最近、田中長野県知事の脱ダム宣言が大変有名になっています。全国のダム反対論者を勇気づけています。また、数年前アメリカで大ダム建設を中止し、中小ダムに切り替えることが決定され波紋を呼びました。

しかし、私は、ダム不要論は採りません。言うまでもなくダムは治水だけでなく、農業や発電にも役立っています。鹿児島県のシラス台地は水がないため、長く不毛の地と言われていました。昭和初期まで数十メートルを超える深井戸を掘り、釣瓶で水を汲んでいたのです。数十メートル綱を引いてバケツ一杯分の水しか手に入らないわけですから、水汲み仕事は大変でした。しかし、高隈ダムが完成して、今や穀倉地帯に変貌しました。四国高松の毎度の渇水騒ぎも高知県の早明浦ダムから貰い水して何とかしのいでいるのです。

・・・(中略)・・・

もちろん、だからといって、私はダム建設積極推進論者でもありません。なるべく自然を壊さないほうがよいに決まっています。自然に手を加えるのですから、不可避免的に影響が出てきます。自然はシームレスの織物に喩えられるように、複雑な有機体だからです。・・・(治水とダム；信州大学自然災害・環境保全研究会編より抜粋)

ダム建設の是非に関して、河川と共生する治水・利水の観点から、あなたの考えを述べなさい。